

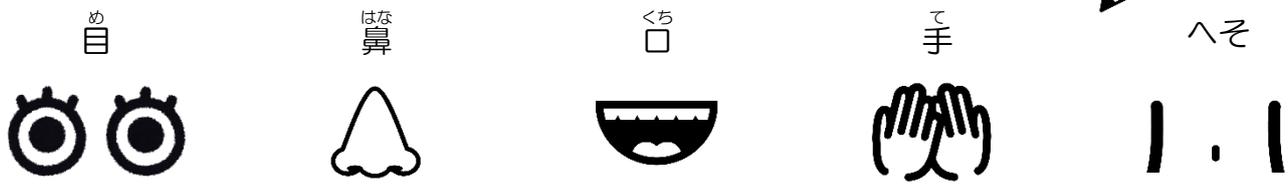


令和3年9月2日  
かほく市立七塚小学校  
保健室

# かぶ だい は しんがっきようちゅうい たいさく みなお デルタ株「第5波」で新学期要注意！コロナ対策を見直そう

これまで、**新型コロナ**は「子どもは**感染**しづらい」「**発症**しづらい」とみられていましたが、**デルタ株**が**猛威**を振るい、**感染**する子どもが増えてきました。そんな中で、**夏休み**が明け、さらなる**感染**の**拡大**が**心配**されています。長引く**コロナ**による**気のゆるみ**も**心配**です。そこで、**自分**と**周りの人**のために、**今一度****コロナ対策**を見直していきましょう。

## 1. コロナウイルスはどこから侵入するのかな？ ○をつけよう。



○をつけたところを**ま**ち**に**守るために**何**をすればいいのかな？ ( )

## 2. どんなマスクがいい？

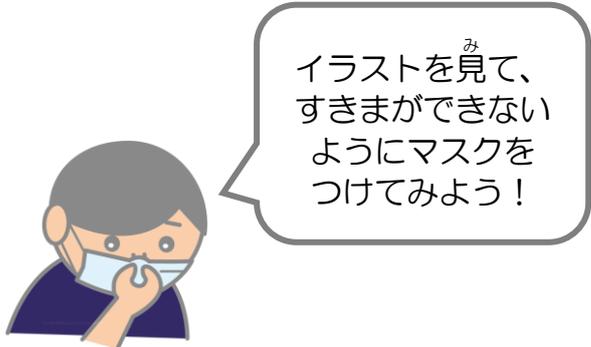
■マスクの**効果**（スーパーコンピュータ「**富岳**」による**シミュレーション**結果）

対策方法	なし	マスク		
	<b>吐き出し飛沫量</b>			
	100%	20%	18-34%	50%*2
	<b>吸い込み飛沫量</b>			
	100%	30%	55-65*2	60-70*2

ひまつ ほんすく  
飛沫が1番少ない  
マスクに○をつけよう



効果の高い  
マスクの付け方  
 YouTube



手はウイルスの運び屋

### 3. 手洗いはいつすればいいかな？

手（ひら）からコロナウイルスは体の中に侵入できません。しかし、手はいろいろなものを触るので、手についたウイルスが目・鼻・口から体の中に侵入する危険があります。つまり手がウイルスの運び屋になってしまうのです。では、ウイルスが目・鼻・口から侵入しないために、いつ手を洗えばいいのでしょうか？



## おうちの方へ ～子どもたちを守るために、感染予防に不織布マスクを～

WHOによると、新型コロナウイルスは発症の2～3日前から他の人に感染させる可能性があります。驚くべきことに、**感染した45%の人は発症前の感染者からウイルスをもらっている**んだそうです。さらに、感染ルートの多くが飛沫感染であり、会話でマイクロ飛沫が発生しているという指摘からも**マスクの重要性**が分かります。

また、これまでマスクの主な効果は、感染した人がつけることで「周囲にうつさない」こととされてきましたが、非感染者がつけることで「**うつされない**」効果も期待できることが分かってきました。このように、感染予防において重要なマスクですが、表面にも書いたように、マスクの種類によってその効果が異なるようです。

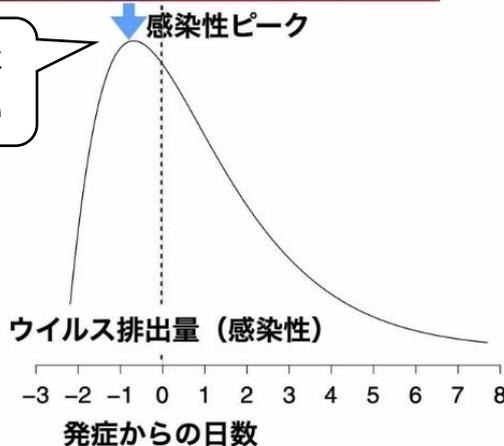
感染力の強いデルタ株や子どもの感染増加など心配な状況が続いていることから、**不織布マスク(使い捨てマスク)の使用をお勧めしたい**と思います。着用感や費用の問題もあると思いますので、できる限りのご協力をお願いします。また、感染リスクを下げるために重要なマスクですが、時々忘れるお子さんがいます。置きマスクやマスクの予備のご準備をお願いします。

「災害級」と言われる感染状況。保護者の皆さんと力を合わせていかないと乗り越えることはできません。子どもたちの健康を守り、学校内での感染の拡大を防ぐため、引き続き**毎朝の健康観察と規則正しい生活習慣づくり**をお願いいたします。また、**本人だけでなく、同居する家族に体調の変化があった場合には、登校を控えるよう**お願いいたします。

#### 新型コロナウイルス感染症



排出ウイルス量は発症前が最も多い



45%の人は発症前の人から  
ウイルスをもらっている

効果の高い不織布マスクを  
すき間なくつけることが重要